

YMアセット・ 優良米国株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第25期（2023年7月20日決算）

第26期（2023年10月20日決算）

作成対象期間（2023年4月21日～2023年10月20日）

第26期末（2023年10月20日）	
基準価額	11,502円
純資産総額	8,934百万円
第25期～第26期	
騰落率	16.2%
分配金合計	900円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

●交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

●当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記の当社ホームページを開く

⇒「ファンド情報」を選択

⇒「ファンド名」を選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

●運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新（プレミアム合衆国）」は、このたび、第26期の決算を行ないました。

当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得を通し、信託財産の成長をめざしております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、第25期、第26期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

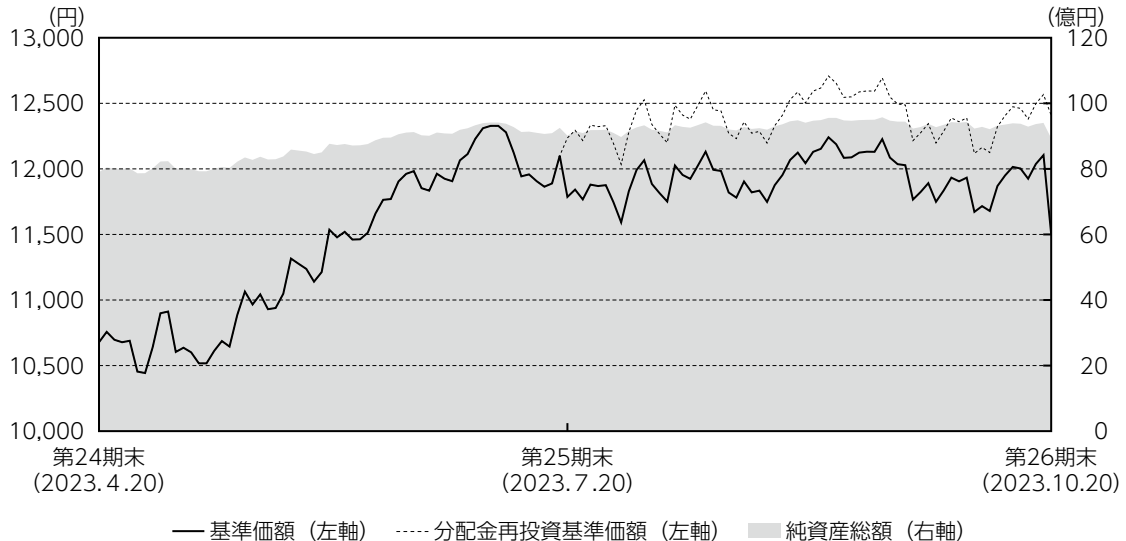
お問い合わせ先 083-223-7124

（営業日の9：00～17：00）

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第25期首：10,678円

第26期末：11,502円（既払分配金900円）

騰落率：16.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は7.7%の上昇、分配金再投資基準価額は16.2%の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第25期～第26期		項 目 の 概 要
	(2023年4月21日～2023年10月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	56円	0.481%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は11,662円です。
（投信会社）	(22)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(32)	(0.275)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	57	0.486	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

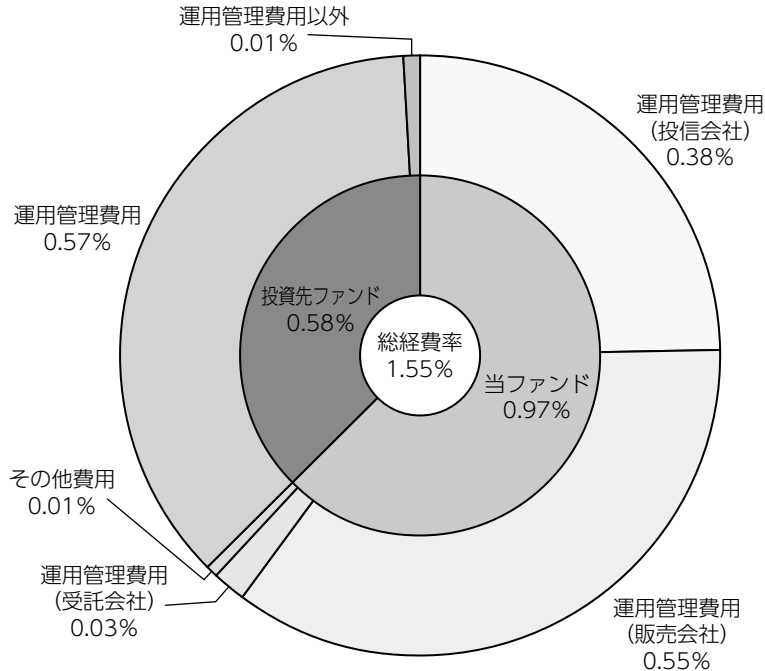
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



総経費率 (①+②+③)	1.55%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

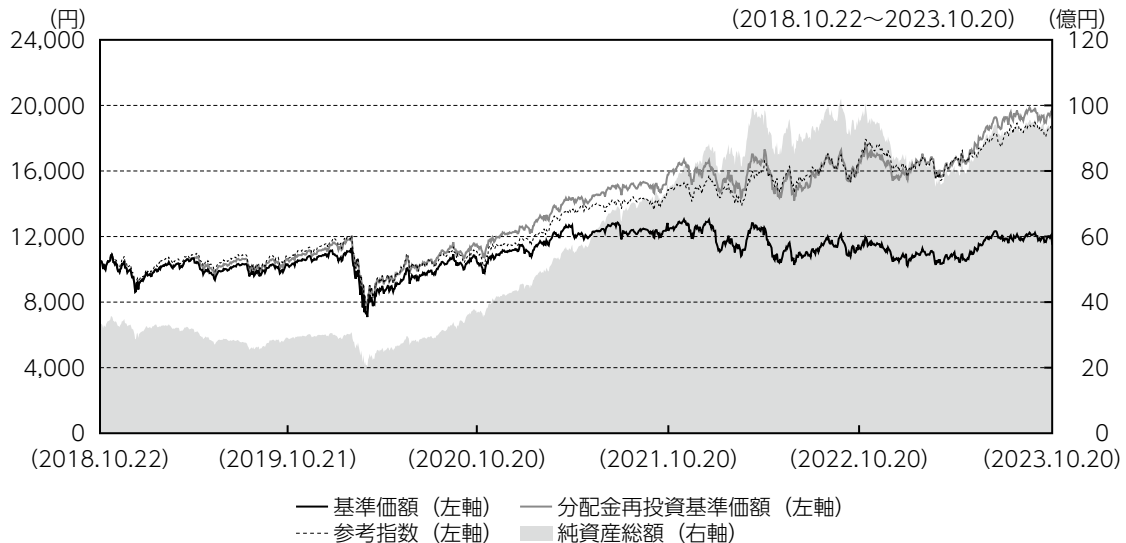
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額、参考指数は、2018年10月22日の基準価額をもとに指数化したものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のおお客様の損益の状況を示すものではありません。

*参考指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) です。

	2018年10月22日 決算日	2019年10月21日 決算日	2020年10月20日 決算日	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,493	10,304	10,487	12,347	11,273	11,502
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	330	670	1,850	1,650	1,550
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.3	8.3	37.1	5.1	17.0
ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	3.0	2.6	33.5	13.1	10.8
純資産総額 (百万円)	3,305	2,913	3,662	7,339	9,467	8,934

(注1) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しております。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ダウ工業株30種) とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

投資環境について

◎米国株式市況

- ・当作成期における米国株式市況は、株価指数ごとにまちまちの展開となりました。
- ・当作成期首から2023年7月末にかけての株式市況は、大手ハイテク株の堅調な決算内容が好感されたことや、好調な経済指標を背景に景気の軟着陸期待が高まったことなどから、株価は上昇しました。8月以降は、米連邦公開市場委員会（FOMC）にてタカ派的な政策が据え置かれ、政策金利が高い水準で維持される期間が長くなるとの観測の下、長期債利回りが上昇したことなどが重しとなり、株価は下落しました。変動の大きい期間となるなか、当作成期間の初めから期間末にかけて、NASDAQ総合指数が上昇する一方で、ダウ工業株30種は下落となりました。

◎為替市況

- ・当作成期首に比べ、米ドル高・円安となりました。米国長期金利の上昇傾向を受け、米ドル高が進みました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

- ・当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

○次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

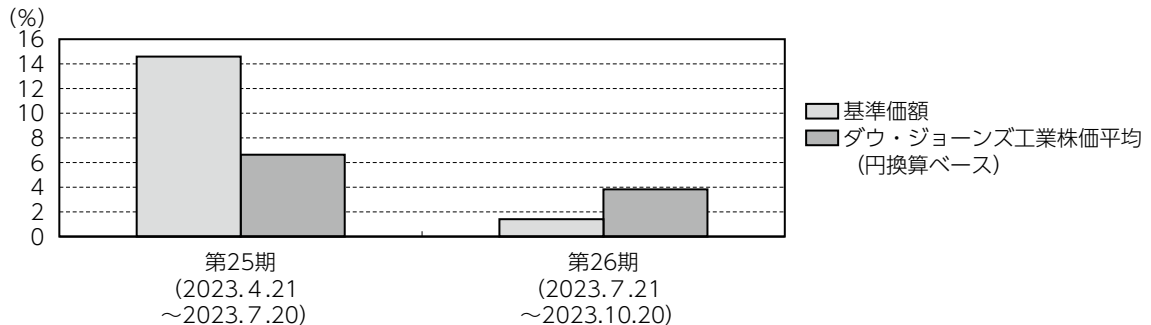
- ・基準価額は当作成期首に比べ16.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
 - ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しをもとに、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
 - ・主として米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
 - ・当作成期間においては、米株式市場の1年以上にもおよび調整により、株価は割安感が高まり、現行水準からの下値は限定的とするものの、金融政策を左右するインフレ動向と金融引き締めに伴う景気への影響を注視しつつ、方向感を探る展開となることを想定しました。このような環境下、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
 - ・適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では1銘柄が入れ替わりました。
 - ・企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
 - ・米国において不動産情報の提供やオンラインでの不動産マーケットプレイスを運営する「COSTAR GROUP INC」を全売却し、航空宇宙製品や制御機器の大手メーカー「HONEYWELL INTERNATIONAL INC」を新規買付しました。
- ### ○マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第25期は450円、第26期は450円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第25期	第26期
	2023年4月21日 ~2023年7月20日	2023年7月21日 ~2023年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	450	450
対基準価額比率（%）	3.68	3.77
当期の収益（円）	450	157
当期の収益以外（円）	—	292
翌期繰越分配対象額（円）	1,879	1,588

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第25期	第26期
(a) 経費控除後の配当等収益	63.68円	52.89円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,415.06	104.96
(c) 収益調整金	851.10	914.85
(d) 分配準備積立金	0.00	965.90
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,329.84	2,038.60
(f) 分配金	450.00	450.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,879.84	1,588.60

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

・次世代米国代表株ファンド（FOFS用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○次世代米国代表株ファンド（FOFS用）（適格機関投資家限定）

- ・足元、市況調整の動きがあったものの、市況は2022年秋以降、景気と企業業績が思いのほか底堅いことや今後のインフレ鎮静化期待を織り込むかたちで上昇していきました。投資環境は改善方向にあると思われるものの、インフレ動向についてはなお警戒を怠れないため、今後の金融政策について不透明感が完全に払拭される状況には至っていないと考えます。加えて、金利の高止まりやインフレによる今後の景気後退リスクにも引き続き注意が必要です。現行水準からの一段の上昇には、企業業績や金融政策などにおいて、さらなる好材料の出現が必要と考えられ、当面は一進一退の展開が続くと予想しております。このような環境下、米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。
- ・景気や金利の動向についての不透明感は未だ払拭されない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。
- ・現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、AIを含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考えられる領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。未だ不透明感漂う投資環境ではありますが、投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断します。

○マネープールファンド（FOFS用）（適格機関投資家限定）

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

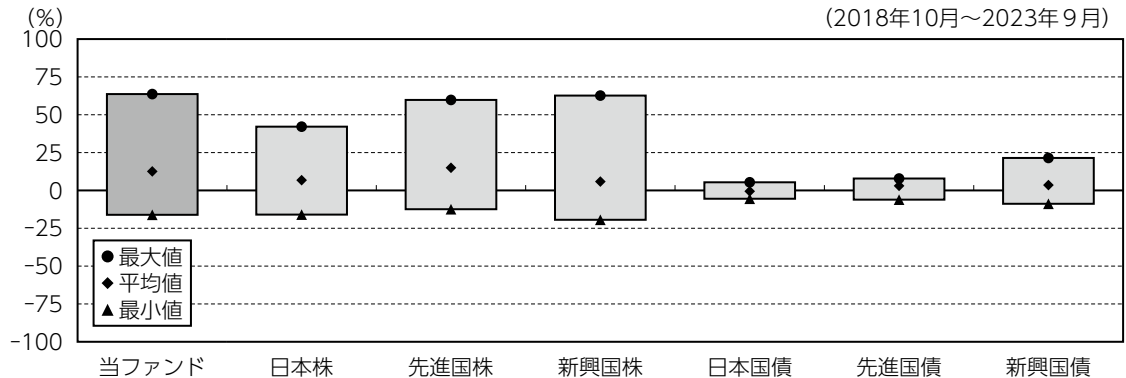
お知らせ

- 該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年4月21日から、2027年4月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) の受益証券 ロ) マネープールファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。以下同じ。) に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) とマネープールファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、次世代米国代表株ファンド (FOF s) (適格機関投資家限定) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額 (1万円当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。) が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額 (1万円当り。) を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.6	6.8	15.0	5.9	-0.6	3.0	3.5
最大値	63.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-16.1	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 各資産クラスは、当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記は、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……………東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル・ディバースファイド (円ベース)

*各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル・ディバースファイド (円ベース) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、JP.Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

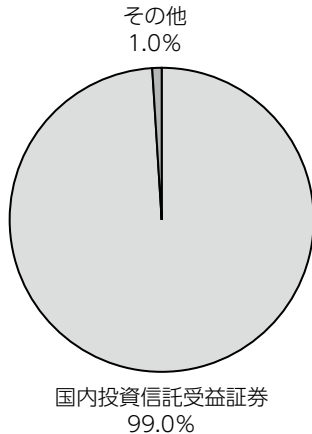
	比率
次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）	99.0%
マネーパールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）	0.0
その他	1.0

（注1）比率は第26期末における組入有価証券評価額の純資産総額に対する割合です。

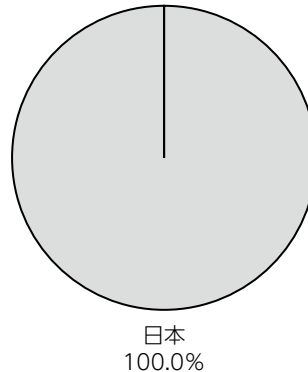
（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（注3）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

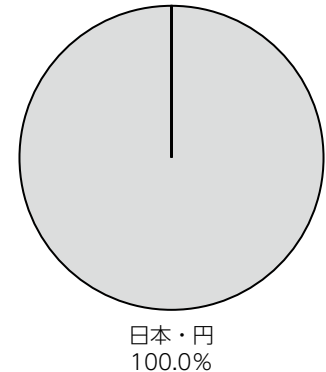
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記データは2023年10月20日現在のものです。

（注2）比率は第26期末における組入有価証券評価額の純資産総額に対する割合です。

（注3）資産別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

純資産等

項目	第25期末	第26期末
	2023年7月20日	2023年10月20日
純資産総額	9,014,638,193円	8,934,713,848円
受益権総口数	7,648,446,489口	7,767,999,484口
1万口当り基準価額	11,786円	11,502円

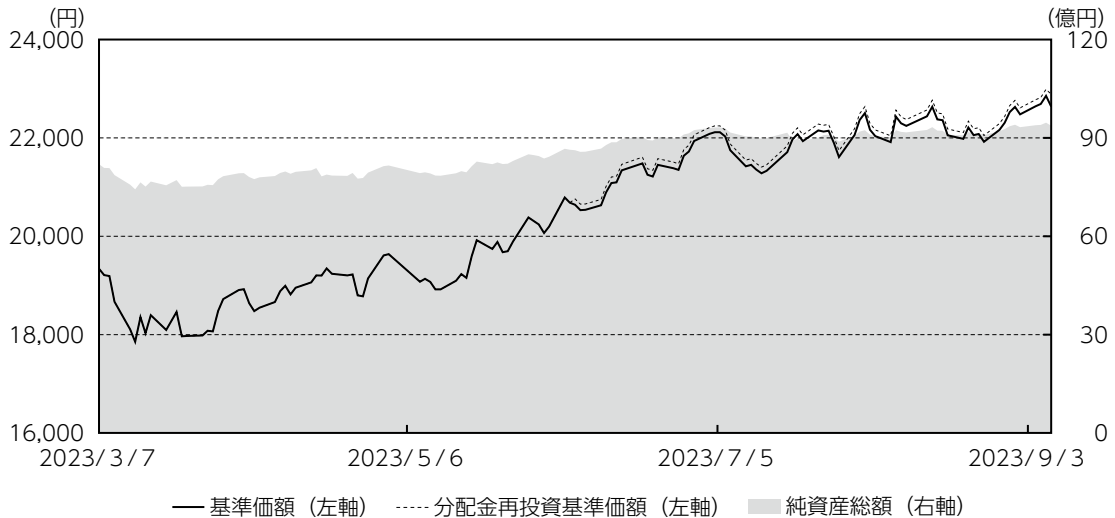
* 当作成期間（第25期～第26期）中における追加設定元本額は981,575,504円、同解約元本額は612,349,330円です。

組入上位ファンドの概要

運用状況等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

◆次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）（作成対象期間 2023年3月8日～2023年9月7日）

■基準価額等の推移について



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指数化しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	第25期～第26期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a)信託報酬	59円	0.289%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(57)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	9	0.043	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(9)	(0.043)	
(c)有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d)その他費用	1	0.007	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.339	
作成期中の平均基準価額は、20,513円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド等

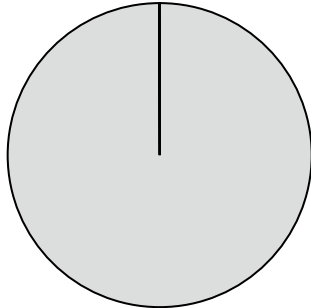
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第26期末
	2023年9月7日
次世代米国代表株マザーファンド	99.9%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

■ 資産別配分

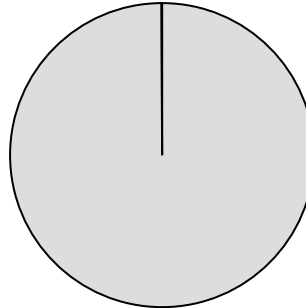
コール・ローン等
0.1%



マザーファンド受益証券
99.9%

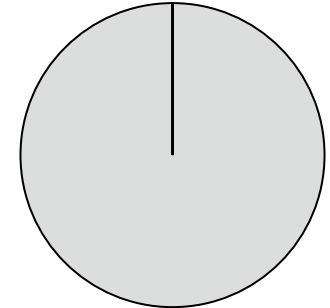
■ 国・地域別配分

その他
0.1%



日本
99.9%

■ 通貨別配分



円
100.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

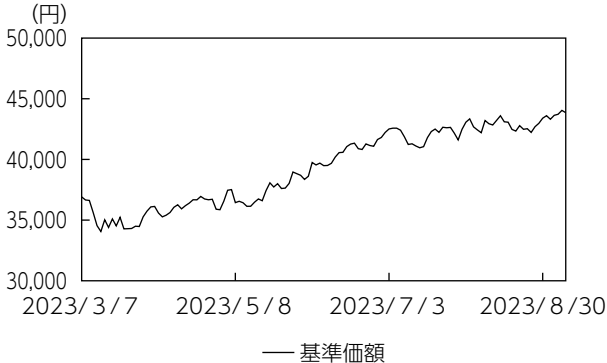
・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

※以下のファンドは次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）が組み入れているファンドです。

◆次世代米国代表株マザーファンド（作成対象期間 2023年3月8日～2023年9月7日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a)売買委託手数料	16円	0.042%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(16)	(0.042)	
(b)有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(c)その他費用	2	0.005	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	18	0.047	
期中の平均基準価額は、39,353円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：30銘柄)

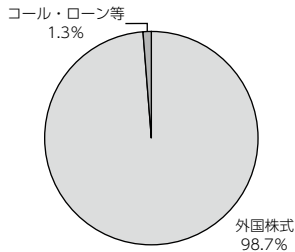
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率
1	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	7.6%
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	6.5%
3	CATERPILLAR INC	株式	アメリカ	資本財	6.4%
4	AMERICAN EXPRESS CO	株式	アメリカ	金融サービス	6.2%
5	TJX COMPANIES INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	5.8%
6	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	5.1%
7	AMGEN INC	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.8%
8	VISA INC-CLASS A SHARES	株式	アメリカ	金融サービス	4.5%
9	BANK OF AMERICA CORP	株式	アメリカ	銀行	4.5%
10	INTUITIVE SURGICAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	4.2%

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

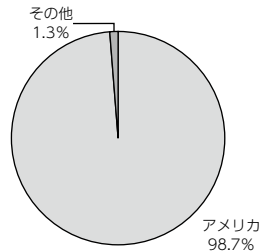
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

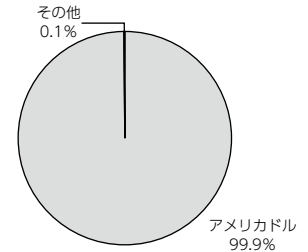
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



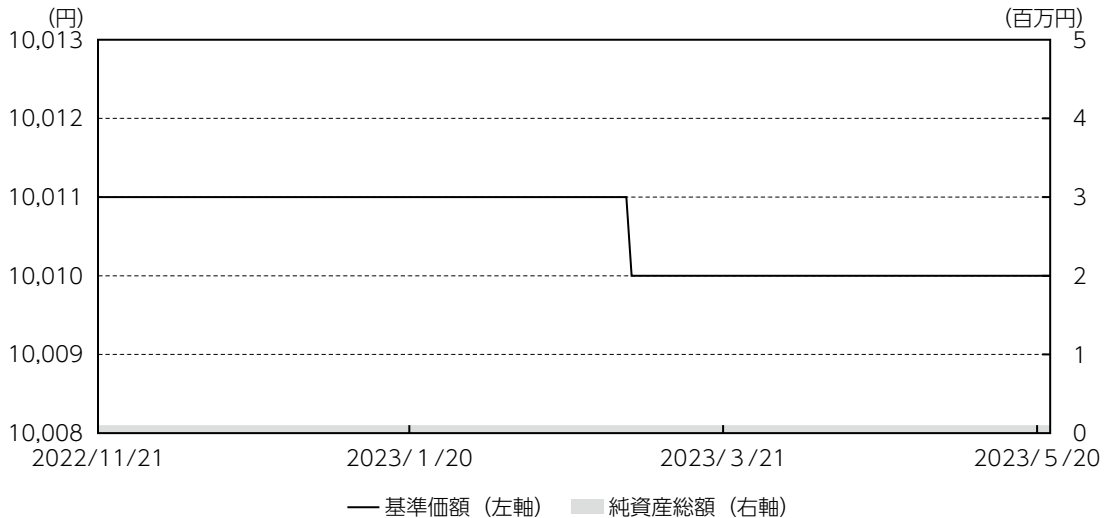
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

◆マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）（作成対象期間 2022年11月22日～2023年5月22日）

■基準価額等の推移について



■1万口当りの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	2円	0.016%	(a)信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投信会社)	(1)	(0.005)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(1)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、10,010円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド等

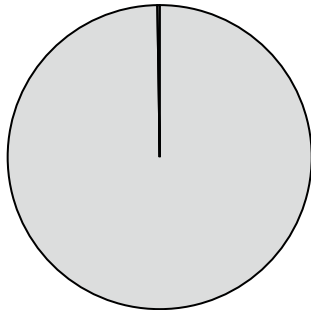
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第25期末
	2023年5月22日
マネー・マーケット・マザーファンド	99.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

■ 資産別配分

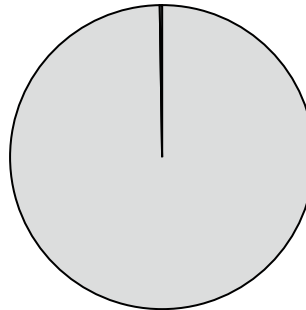
コール・ローン等
0.2%



マザーファンド受益証券
99.8%

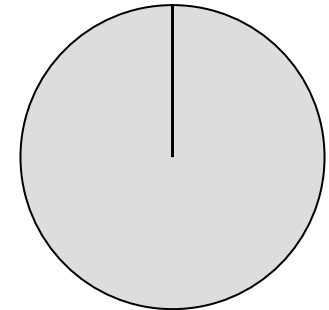
■ 国・地域別配分

その他
0.2%



日本
99.8%

■ 通貨別配分



円
100.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

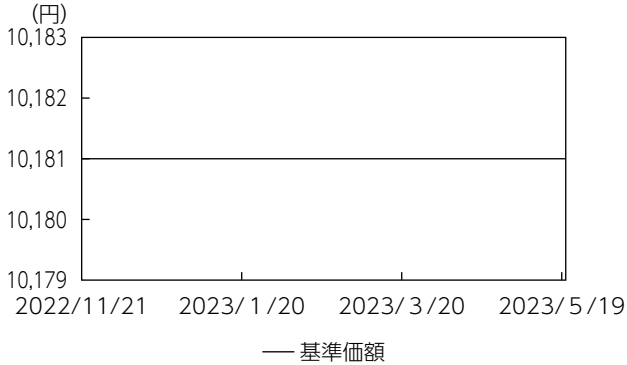
・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

※以下のファンドはマネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）が組み入れているファンドです。

◆マネー・マーケット・マザーファンド（作成対象期間 2022年11月22日～2023年5月22日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

2022年11月22日～2023年5月22日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

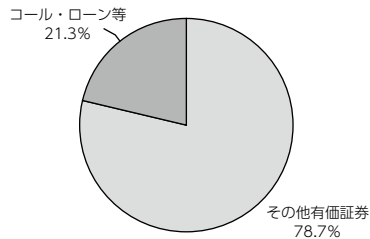
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：3銘柄)

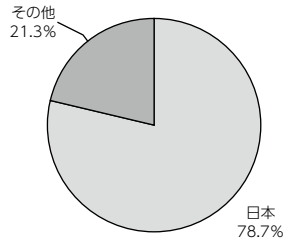
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率
1	セントラルガラス 230523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	68.4%
2	グンゼ 230523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	6.8%
3	アミカスF 230523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	3.4%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・原則、国・地域については、発行地を表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

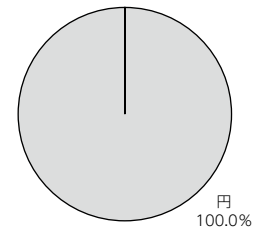
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・原則、国・地域については、発行地を表示しています。
- ・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。